



メールマガジン「ユニバーサルひょうご通信」第131号
発行：兵庫県ユニバーサル推進課 令和3年7月13日



梅雨空が続きますね。急な大雨による災害や、体調管理など、皆さまくれぐれもお気をつけください。

東京2020オリンピック・パラリンピック開催を間近に控え、今回はスポーツ関係の情報を中心にお届けします。

ユニバーサルひょうご通信7月号をどうぞ。



【今月のピックアップ！】

～障害者スポーツ特集～

- ① 東京2020パラリンピック兵庫県聖火フェスティバル(8/16)の参加者募集
- ② 障害者スポーツ振興への寄附・寄贈をいただきました
- ③ 富士通株式会社明石工場と障害者スポーツ応援協定を締結

【イベント・募集】

- ④ 「兵庫県障害者アートギャラリー オープン1周年記念特別展」の開催(8/11～8/15)

【手話カフェ】

- ⑤ 手話通訳って何？

【ラジオ】

- ⑥ ラジオ「濱田祐太郎のひょうごユニバーサル通信」6月放送内容



①東京 2020 パラリンピック「県聖火フェスティバル」(8/16)
の参加者募集

東京2020パラリンピック開催にあたり、
2021年8月16日(月)、神戸市総合運動公園陸上競技場で、
「聖火フェスティバル」が開催されます。
当日は「パラスポーツ体験会」や「開催記念イベント」として、
ゲストのアスリートによるスペシャルトークなども行われます。

また、セレモニーでは、兵庫県内の41市町から集まった希望の火が
集結し東京に向けて届けられます。いよいよという実感が湧いてき
ましたね♪

■お申し込み(7月22日(木)まで)

募集定員は1000人で、入場は無料です。

お申し込みは、次の県ホームページの「申込入力フォーム」からどう
ぞ。郵送でも受付けています。

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/2020paraseikafes.html>

②障害者スポーツ振興への寄附・寄贈をいただきました

障害者スポーツ振興のため、下記の3企業から(公財)兵庫県障害者
スポーツ協会へご寄附をいただき、同協会理事長の県副知事から感
謝状を贈呈しました。

■寄附(敬称略、順不同)

- ・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 10万円
- ・第一ゴルフ株式会社 10万円(ふるさと寄附「障害者スポーツ応援プロジェクト」)

■寄贈

・大阪ガスグループ(Daigas グループ小さな灯運動として)

<寄贈内容>ゴールボール用具

(ブラインドボール、アイシェード 各 10 セット)

ひょうご障害者スポーツ指導者競技会の県下 10 支部に配置し、地域のスポーツ体験で使用させていただきます。

③富士通株式会社明石工場と障害者スポーツ応援協定を締結

障害者スポーツを応援するため、(公財)兵庫県障害者スポーツ協会と富士通株式会社明石工場が、6 月 24 日に「障害者スポーツ応援協定」を締結しました。今回の締結で、応援協定の締結団体は、89 団体となりました。(学校 20、企業 58、団体 11)

■企業名:富士通株式会社 明石工場

■応援内容:障害者スポーツ団体等への技術指導などのボランティア活動

④「兵庫県障害者アートギャラリー オープン1周年記念特別展」の開催(8/11～8/15)

神戸市灘区の「原田の森ギャラリー」内にある「障害者アートギャラリー」オープン1周年を記念し、「障害者アートギャラリー」隣接の「本館1階展示室」において、特別展を開催します。(期間:8月11日(水)から15日(日))。

県内で創作活動をされている皆さんの作品約 100 点が集まり、原田の森ギャラリーの1階が絵画、書、立体作品などでにぎわいます。「障害者アートギャラリー」の常設展示とあわせて、お楽しみください。

夏休みの作品づくりがなかなか進まない子どもたちの刺激になるかもしれませんね。ぜひ、ご家族で見に来てくださいね!

■「兵庫県障害者アートギャラリー オープン 1 周年記念特別展」

<https://hyogo-arts.or.jp/harada/exhibitionmonth/202108/#2106>

⑤【手話カフェ】 ～ 手話通訳って何？ ～

昨年から、テレビやインターネット配信で手話通訳者を見かけることが増えました。手話通訳者の仕事はこのような放映の他、地域の聞こえない人たちの依頼を受け、病院、職場、学校参観、懇談会など生活のいろいろな場面で、聞こえる人と聞こえない人をコミュニケーションでつないでいます。

「通訳」は、異なる言語を使う人の間で、その両方の言語を駆使してお互いの意思を通じ合うようにする仕事です。

言語はそれを使う人々の文化と深い関わりがあります。だから、気持ちを伝え合うためには、ただ同じ意味の単語に置き換えるのではなく、その言語を使う人々の暮らしや考え方など文化的背景を考慮しながら伝えることが求められます。

耳の聞こえる人と聞こえない人は、同じ日本の文化が背景にあるので、暮らしや考え方も同じだと思いがちです。けれども、「聞く」ことを中心に会話する人と、表情や口形など「見る」ことを中心に会話する人とは、生活の様子や物事のとらえ方が違うことはお話ししてきたとおりです。

私たちはこのような違いから起こるすれ違いに気をつけながら通訳をし、うまく伝わらない場合には、そのすれ違いが起こる理由について理解を深めるコミュニケーションができるように努力しています。

たとえば、「ドアをそっと閉める」「夜中に洗濯機を回さない」「レストランでは大声で話さない」などの社会習慣は、「聞く」人た

ちのルールですね。

一方、「後ろから肩をたたいて知らせることはしない」「相手がこちらを見てから話を始める」「明るくする」というのは「見る」人たちのルールです。

「夜や早朝に洗濯をしてうるさくて寝られない」

⇒「洗濯機から音がしているとは知らなかった。うるさいって
どうということだろう」

「後ろから呼んでも振り返らないから、背中をたたいた」

⇒「すごくびっくりして怖かった。前に回って話してほしい」

具体的には生活の場でこのようなすれ違いが起こります。

こんなときにお互いが感じていることや伝えたいことを理解して、ともに住みやすくしていくようなコミュニケーションができるようにすることが手話通訳者の役割になります。

そして、音声で話せない人にとっては手話通訳者の声その人の感じていることを音声言語で伝える方法となります。

当事者の声を社会に届けていくことも手話通訳者の大切な役割のひとつです。
(兵庫県設置手話通訳者)

⑤ ラジオ「濱田祐太郎のひょうごユニバーサル通信」6月放送内容

■6月15日の放送内容

<ゲスト>

高砂市老人クラブ連合会理事 真利一憲(まり・かずのり)さん

<テーマ>

ユニバーサルカフェと誰もが参加できる環境

「ユニバーサルカフェ」とは、特定の人たちに限定しないで、高齢者、障害者、子ども・子育て世代、外国人など誰でも、住民同士が気軽に交流できる場所のことです。

この「ユニバーサルカフェ」をテーマに、真利さんたちが運営されている高砂市「よろずカフェ」についてお話しいただきました。

番組後半は、加東市吉井の社会福祉法人でんでん虫の会(加東市吉井)の「黒まるクッキー」をご紹介します。

詳しい放送内容は、ラジオ関西「ラジトピ」をご覧ください。
<https://jocr.jp/raditopi/2021/06/30/346336/>

■次回のラジオ「濱田祐太郎のひょうごユニバーサル通信」

7月20日(火)15時20分～15時40分

(ラジオ関西「PUSH!」内)

ゲストは、パラスポーツでご活躍の久保秀男さん。(予定)

久保さんには、パラスポーツの魅力などをお話しいただきます。

■メッセージの募集

番組を聴いてのご感想や、まちかどでユニバーサル社会を感じたこと、ユニバーサル大使の濱田祐太郎さんへの質問・メッセージを募集しています。メッセージの宛先は、push@jocr.jp

または、〒650-8580 ラジオ関西「火曜 PUSH!」までお送り下さい。

【編集・発行】

イベント情報や、メルマガの配信希望・中止等のご連絡は以下まで
兵庫県健康福祉部障害福祉局ユニバーサル推進課

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号

TEL:078(362)4379 FAX:078(362)9040

Mail:universal@pref.hyogo.lg.jp
